（７）令和元年度上期下水道事業の概況

ア　建設事業の状況

既成市街地の汚水事業では、江戸川左岸流域関連下水道事業について、今年度整備予定面積約２１．８ヘクタール（汚水管布設工事１３件）全てを発注した。また、手賀沼流域関連下水道事業は、整備予定面積約１．２ヘクタール（汚水管布設工事１件）全てを発注した。

新設小中学校に伴う汚水事業では、実施設計委託を発注し今年度中に工事発注できるように準備を進めている。

既成市街地の雨水事業では、大堀川１号雨水幹線整備事業を平成３０、３１年度の２か年継続事業で進めている。

つくばエクスプレス沿線整備では、汚水及び雨水事業の土地区画整備事業者と業務委託を締結した。両事業の今年度整備予定面積は、汚水事業が１８．５ヘクタールであり、9月末現在で１４％を発注した。また、雨水事業が１．４ヘクタールであり、9月末現在で整備予定の約１８％を発注した。引き続き地区内造成事業の進捗に合わせて整備を進める。

イ　業務の状況

当期の排水区域人口は、１７２，６８１人で、前年同期に比べ７，０５７人（４．２６％）の増加があった。

行政区域内人口と比較する普及率は、８９．０２％で、前年同期に比べ１．４５％の増となった。

ウ　経理の状況

上期における総収益は、１，９６３，９４４，２４４円で、前年同期と比べ１４２，１１９，４１７円の増額となった。総費用は、１，００８，８３５，３４８円で、前年同期に比べ2，５７３，２７６円の増額となった。税抜きによる総収益1，８８６，７５６，７７４円から総費用1，００５，８７７，５８８円を差し引いた当期の損益は、８８０，８７９，１８６円の純利益となった。

収益の内訳は、営業収益が１，３８６，５９０，５３３円で前年同期に比べ２７，１３０，５４２円（２．００％）の増収とな

った。

　このほか、営業外収益は５７７，３５３，７１1円で、前年同期に比べ１１４，９８８，８７5円（２４．８７％）の増収となった。

　次に、費用の内訳では、営業費用が８４３，６１３，５０5円で前年同期に比べ１７,９４６,７５１円（２．１７％）の増額となった。このほか、営業外費用は１６５，１７７，６６5円で、前年同期に比べ１５，２０３，５１6円（８．４３％）の減額となった。